

➤ バスが信号交差点で優先的に通行できるように信号制御を行うことで、より短い時間、少ない遅延での運行となり、バスが利用しやすくなります。

高度化 PTPS



高度化 PTPS 車載機の開発、シミュレーションや公道実証による効果検証を実施

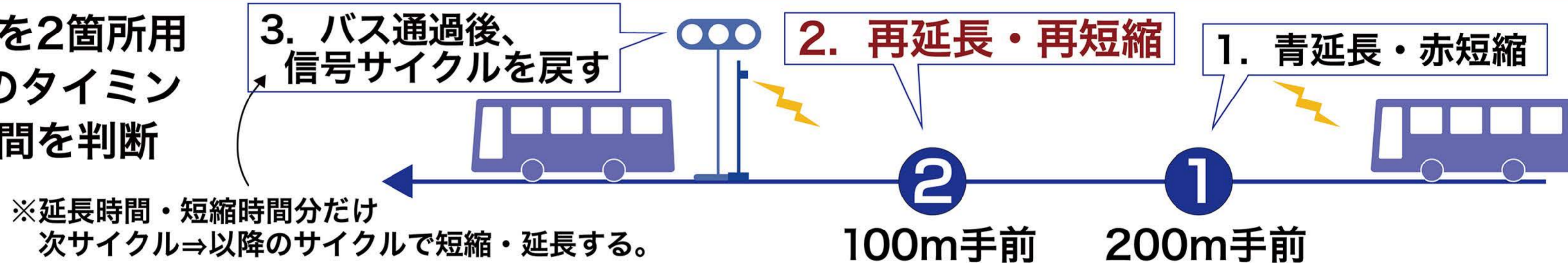
●(従来の) PTPS (公共車両優先システム) とは

- ・ 信号の青・赤時間をバスの到着タイミングに合わせて調整し、速達性を向上
- ・ 交差点の手前に設置された光ビーコンの下をバスが通過した時に接近を検知

●760MHz 帯を利用した高度化 PTPS の特徴

- ・ 遮蔽物に強い通信性能 ⇒ 設置上の制約少
- ・ 継続的な通信が可能 ⇒ 信号手前の交通状況に柔軟に対応
- ・ 路側 1 機で全流入路のバスを検知可能 ⇒ 路側器の数の削減
- ・ 双方向通信 (路⇄車) も容易に ⇒ ドライバーへの運転支援情報の提供可能

バスの検知箇所を2箇所用意し、それぞれのタイミングで信号調整時間を判断



実証実験による公道での効果検証

・ 東京都江東区豊洲～有明付近の公道で実証実験を行い、所要時間短縮効果等を検証

実証実験走行ルート(豊洲～有明付近)



実験の様子



所要時間短縮効果

走行方向	PTPSなし 走行時間	PTPSあり 走行時間	PTPS 作動回数	平均青延長 秒数	データ 取得本数
往路 豊洲市場→ビッグサイト	9分37秒	8分38秒	15回	5.6秒	32回
復路 ビッグサイト→豊洲市場	6分22秒	5分48秒	7回	6.6秒	31回

1分程度(10%程度)
走行時間が短縮